

令和3年度 経営発達支援事業 評価報告書

奥州商工会議所

I. 目的

当所経営発達支援計画記載の事業実施状況及び成果について、本事業実施に係る改善点やそのプロセスを明確にし、本事業推進にあたる効果的なPDCAサイクルを構築するため、外部有識者を含めた構成メンバーによる事業評価検証委員会を実施し、評価・見直しを行い、次期の経営発達支援計画内容に反映させていくことを目的とする。

II. 事業評価検証委員会の開催

今年度の評価検証については、国内における新型コロナウイルスの感染拡大の状況を踏まえ、感染拡大を防止する観点から緊急的な措置として委員会の招集は行わず、書面にて実施した。

【委員】

No	職名	氏名	役職等
1	委員長	菊地 浩明	奥州商工会議所専務理事
2	委員	佐藤 朝則	岩手県県南広域振興局経営企画部長
3	委員	佐賀 俊憲	奥州市商工観光部長
4	委員	及川 和人	(税)及川会計 代表社員税理士
5	委員	高橋 雅裕	(株)高橋コンサルティングオフィス 代表

【審議事項】

(1)経営発達支援計画の事業評価について

III. 対象期間

令和3年4月1日から令和4年3月31日

IV. 評価方法

- A: 目標を達成することができた。(90%以上)
- B: 目標を概ね達成することができた。(70%～89%)
- C: 目標を半分程度しか達成することができなかった。(50%～69%)
- D: 目標をほとんど達成することができなかった。(1～49%未満)
- E: 未着手。(0%)

V. 評価結果(60項目)

A評価: 26項目(43.4%) B評価: 7項目(11.7%) C評価: 2項目(3.3%) D評価: 8項目(13.3%) E評価: 17項目(28.3%)※
※E評価には新型コロナウイルス感染症の影響により未実施だった事業を含む

【委員からの主な評価及び意見】

1. 総評

- 多くの商工業者へのコロナ支援策の対応が求められている状況下にあつて、本計画の事業を着実に執行されていることに高い評価をする。経済活動が制限される中で、アフターコロナを見据えた事業であり、今後の取組にも期待する。
- 「3. 事業計画策定支援に関すること」の「(1)既存事業者の事業計画策定支援」などでは、コロナ禍によりセミナー参加者数が目標を下回ったとのことだが、事業再構築補助金や持続化補助金は感染症拡大により大きな影響を受けた事業者を対象とするものでもあることから、WEB配信など開催方法を工夫してはどうか。一方で、個別相談の参加者数が目標を大きく上回っていることは評価でき、感染状況に配慮しながら、事業者に必要な情報を届けられるよう努められたい。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が実施に制限を受ける中ではありますが、支援を必要とする事業者が多くあると考えられますので、引き続き様々な支援策についてセミナーのWEB併用開催等のIT活用、実績の詳細な分析及び改善など、より一層の工夫によって、更なる事業効果の向上を図られるよう期待します。
- 計画作成段階で、国等からの指導もあつたと思われますが、目標設定について、より実体的現実的な数値にすることも重要と思われます。PDCAサイクルを回すという観点から、次回の計画作成に生かすべきと考えます。
コロナ禍は不測の事態でした。その為に実施できなかった事業もありました。これらは「評価対象外」とするより、「E未実施」とした方が良いと思われます。
確かに「未実施」はコロナ禍が原因ですが、だからと言って実施しなくて良かった事業ではないと思われます。未実施だったけれども、それを踏まえてどうすべきかを考えていくことが、より重要なことではないかと考えます。
- コロナ禍が収束しない中で、特に助成金等申請に対する支援で、非常に多忙な業務対応に追われたと思います。今後も、集合型セミナー、対面式での指導等に関してはまだある程度の制限はあると思いますが、まずは事業者の経営安定への施策、事業計画策定指導等積極的に取り組んで頂きたいと思います。